

領事館と
護衛兵

俟ちて兩國協議決定する所あらんと約し、頻りに有利の利權を獲得せしが、爾來露國の勢力は、漸次盛大と爲り、其の政策の基礎は、百般施設の上に於て益、鞏固を加ふるに至れり。

現今新疆省に於ける露國領事館の所在地及護衛兵の數を擧ぐれば左の如し。

伊犁 寧遠城通稱
クルチャ 總領事館 護衛兵約二百騎と砲二門

塔爾巴哈臺 領事館 護衛兵約三十騎

烏魯木齊 領事館 護衛兵約三十騎

喀什噶爾 領事館 護衛兵約六十騎

之を通商の爲め設置せし領事館の護衛としては、其の兵數の多きを認む。

此領事館の監督下に、露國の臣民は如何に活躍しつゝ在るか。

第二節 露人の移住及實業

露國臣民にして、伊犁附近の各地に移住土着し、農業を營む者、或は、遊牧して天山北路の各處に散在する者は、其數實に幾萬の多きに上るか、容易に知るべからず。

露國の農
民と遊牧